

## I 研究主題

情報交換及び地域の学習を通して、小中4校の望ましい連携のあり方を探る。

### 【主題設定の理由】

同じ地域に学ぶ子どもを教育する立場で、地域を学ぶと共に、地域の教育課題を共有しその解決に向けた交流を図っていく。

## II 研究の内容

昨年度の反省を生かし、臨地研修、授業公開、講演会に加え、今年度は情報交換の場を新たに設けた。

### 【第1回】臨地研修 8/3(火) 13:30～ 山梨県果樹試験場

- ・東山梨地域で盛んな果樹栽培の中心となっている果樹試験場を見学することにより、地域の果樹栽培の現状と共に最先端の研究について知り、今後の学校教育に生かしていく機会とした。

### 【第2回】授業参観・情報交換 11/17(水) 山梨小学校

14:10～授業公開 15:10～情報交換

- ・1, 2, 3, 5, 6年及び特別支援学級の授業を参観した。
- ・授業参観後に、3グループに分かれ情報交換を行い、小中での共通理解を深め共通の課題を確認する機会とした。

### 【第3回】講演会 1/12(水) 15:30～ 山梨南中学校

講師 学校教育課発達相談員 中嶋 彩 先生

演題「通常学級に在籍する課題を抱えた子どもに対する対応の仕方について」

- ・課題を抱える子どもが増加傾向にある中、そういう子どもたちへの支援の仕方を学び、今後の児童生徒への関わり方について考える機会とした。

## III 成果と課題

### 1 成果

- ・3回の研究を毎回違う内容で行い、それぞれ有意義なものとなった。また、毎回の研究会を通して、それぞれの学校のことを知るよい機会となった。
- ・1回目の臨地研修では果樹試験場の見学を行った。地域の果樹栽培の様子（情報や流通対策、新品種の開発、研究など）がわかり、地域の農産業について知識理解が深まり、参考になった。
- ・2回目の授業公開・情報交換は山梨小学校で行った。各学年や特別支援学級の子どもの様子がよくわかり、授業内容も参考になった。また、授業公開後の情報交

換では、短時間ながら共通の課題も確認され連携を深めることができた。特に、小中連携の視点から中学校の先生方の話を聞くことができ大変有意義なものとなった。改めて、小中の情報交換や連携の必要性を感じた。

- ・ 3回目は山梨南中学校に於いて発達相談員の中嶋彩先生を講師に迎え、「通常学級に在籍する課題を抱えた子どもに対する対応の仕方について」と題し、講演会を行った。テーマが身近で内容もわかりやすくとても参考になった。問題行動をもつ子どもが増加傾向にあり、どのように支援したらよいか学習することができ、今後の児童生徒への関わり方に生かせる内容となった。

## 2 課題

### 【内容について】

- ・ 臨地研修では、果樹試験場の屋内外を見学させてもらったが、屋外の施設の見学など直接目で見て参考になるものの、暑さが厳しい時期なので内容的に検討の余地があると感じた。また、専門的な内容も含まれていたため、小中学校の教材としてどの学年でも生かせるような内容だとよりよいと思う。今後は、山梨南中学校区から範囲を広げ、地域教材を更に発掘していけるとよいと思う。
- ・ 情報交換については3グループに分かれ行ったが、やや盛り上がり欠けたグループもあったので、事前にある程度話題を絞っておき、同一步調で話し合いを行うなどの工夫も必要だった。また、課題への改善策や対応策についてまで話し合いが広げられるとよかった。
- ・ 講演会では、特別な支援が必要な子に対する対処方法や親への対応などより具体的な内容まで触れられるとよかったという意見も出された。より実態に即した具体的な内容まで学習できるように、事前打ち合わせを行っておくなどの必要性を感じた。

### 【方法について】

- ・ 今年度の内容、方法、運営方法でよいが、参加する側、運営する側のどちら側にもあまり負担のない形で実施していきたい。
- ・ 臨地研修は地域のことを知り地域素材を学習に生かせるという点で有意義だった。また、教材発掘という意味でもよかった。今後は、体験学習やエコに関する場所の見学、文化財巡りなど、様々な視点から見学場所を考えたり、複数コースを少人数で訪問したりするなど、内容、方法を工夫していきたい。
- ・ 今年度は情報交換を少人数で行ったので、様々な話題が出しやすかった。今後は、小学校どうしの情報交換の場や、中学校の授業参観後に小中の情報交換を設定するなど、より効果的な方法も探していきたい。
- ・ 来年度も、その時のタイムリーな話題をテーマに設定したり、教師側の心の問題、ストレス解消法、リラクゼーション法などの学習会を取り入れたりするなど、新たな視点から学習会の内容を考えていきたい。

(ブロック長 三枝 清美)